

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 摂津ひかり 24時間ケアセンター
第 22 回 介護・医療連携推進会議議事録

日 時：2024年2月20日 14時00分～15時00分

場 所：摂津老健ひかり 9階会議室

出席者：摂津市高齢介護課職員 1名
民生委員 7名

事業所 摂津ひかり病院 医師 1名
摂津ひかり病院 訪問看護師 3名
相談員 1名
特養ひかりケアプランセンター 1名
正雀ひかりケアプランセンター 1名
老健ひかり ケアプランセンター 2名
摂津ひかり 24時間ケアセンター 3名
出席者合計人数 21名

- 1 2023年7月から2023年12月までの実績報告
- 2 開設から現在までの事業の検証
- 3 介護・医療連携について
- 4 事例報告（看取り、ターミナルケアの利用）
- 5 事例報告（随時訪問の内容）
- 6 推進会議と認知症の人の声掛けについての意見交換・質疑応答

1 2023年7月から2023年12月までの実績報告

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
契約者数	8名	10名	10名	11名	9名	10名
実利用者数	6名	7名	8名	10名	8名	8名
職員の人数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
総訪問数	466回	469回	444回	466回	398回	443回
日中	271回	263回	252回	267回	207回	231回
夜間	195回	206回	192回	199回	191回	212回
随時訪問数	4回	3回	4回	3回	3回	17回
日中	3回	0回	2回	1回	2回	6回
夜間	1回	3回	2回	2回	1回	11回

・往診

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
介護度1	0	0	0	0	0	0
介護度2	1	1	1	2	2	2
介護度3	1	0	1	0	0	0
介護度4	2	4	2	2	2	3
介護度5	0	0	1	1	1	1

・訪問看護

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
介護度1	0	0	0	0	0	0
介護度2	2	2	2	2	2	2
介護度3	1	0	2	0	0	0
介護度4	2	4	3	2	2	3
介護度5	0	0	1	1	1	1

2 開設から現在までの事業の検証

・利用者総数は106名

2023年7月～12月における利用終了者の終了理由

- ・入所1名
- ・入院1名
- ・死亡6名

3 介護・医療連携について

連携している医師・訪問看護師・PT・栄養士・ケアマネジャー・相談員と行っている事前カンファレンス、ケース会議（月1回）、多職種会議（月1回）、勉強会（月1回）についての説明を行う。

日常の連携として、訪問看護師と当センター介護員は24時間電話連絡が取れる緊急時連絡体制を確保している。

4 事例報告（看取り、ターミナルケアでの利用）

終末期の方で、病院での積極的な治療を望まず、出来るだけ自宅で過ごしたいと希望されるケースが3名あったことを報告。

利用者からは、急変があった時や困ったときにすぐに対応してくれる、こまめな訪問をしてくれる、短時間でも訪問してくれる、訪問看護と連携がとれているので安心といった、安心感に満足されており、特に一般訪問介護との違いに満足されている。

5 事例報告（随時訪問の内容）

随時訪問の内容として、

7月（4件）

- ・排泄の訴えにて随時訪問を行い、排泄介助を行う。（3件）
- ・配食弁当を弁当屋が配達した際に不在であった為、安否確認で訪問する。訪問すると、家におられた。

8月（3件）

- ・排泄の訴えにて随時訪問を行い、排泄介助を行う。
- ・入浴後、立位が取れずお風呂からベッドに戻れないと妻よりコールあり。更衣介助、ベッドまで誘導を行う。
- ・ベッドで寝ているが、ベッドの真ん中できれいに寝かせてあげてほしいと妻よりコールあり。介助にてベッドの中央へ体を移動する。

9月（4件）

- ・排泄の訴えにて随時訪問を行い、排泄介助を行う。（4件）

10月（3件）

- ・転倒したと長女よりコールあり、随時訪問行う。利用者の体格大きく、長女と一緒に起こしベッドに寝てもらう。体温が39.2℃あり訪問看護へ連絡しロキソニンで様子を見るように指示あり、内服してもらう。
- ・しんどいとの訴えあり、随時訪問行う。バイタルサイン測定するも異常無く落ち着かれる（2件）。

11月（3件）

- ・排泄の訴えにて随時訪問を行い、排泄介助を行う。（6件）
- ・便失禁したと長男よりコールあり、随時訪問し排泄介助行う。
- ・お尻が痛いと訴えていると長男よりコールあり、訪問し臀部確認し、アズノール塗布する。布パンツに履き替えたいと希望あり、オムツから布パンツに交換する。

12月（17件）

- ・排泄の訴えにて随時訪問を行い、排泄介助を行う。（4件）
- ・不安の訴えあり、随時訪問し、話を傾聴することで落ち着かれる。
- ・洗濯機の排水が詰まっているので見てほしいとのことで、随時訪問を行う。排水口を掃除することで水の詰まりは解消している。
- ・頭痛の訴えがあり、随時訪問する。自己にてロキソニンを内服され、少し様子を見ますとのこと。内服したことにより、頭痛はマシになったとのこと。
- ・足や腰が痛く、体勢を整えてほしいと訴えあり、自己にて体勢を整えるのが難しい為、随時訪問し、体勢を整える。（10件）

6 携推進会議・認知症の人の声掛けについての意見交換・質疑応答

意見交換

- ・摂津市高齢介護課 A様より

摂津市が認知症施策として実施している制度の説明をして頂く。

①認知症サポーター養成講座の開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを実現することを目的として、認知症の方や家族の方を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する講座を開催している。本年度も200名の方が参加している。

②認知症支援プロジェクトチームの検討

認知症支援に関わる関係者で構成されたプロジェクトチームのことで、認知症に関する情報共有を行い、ご本人やご家族への様々な支援活動を検討している。

③ひとり歩き声かけ模擬訓練の実施

認知症を正しく理解し、地域全体での見守りや声掛けを増やすことを目的として、認知症でひとり歩きをする高齢者役に声をかけるという体験をしてもらい、地域での支え合いについて考える実践形式での取り組みを行っている。

④認知症高齢者、支援対象者、情報提供 制度による支援

大阪府警から保護事案の情報提供を受け支援対象者の状況や介護者の困りごとの聞き取りを行っている。聞き取り内容から、関係機関へ情報共有を行うなどして、必要なサービスへ繋がるよう支援する。

⑤認知症高齢者ひとり歩きSOSネットワーク

認知症の方が行方不明になった際に、協力事業者の方その旨を連絡し、業務中の可能な範囲で発見に協力してもらい、行方不明になった方を早期に発見するための制度。事前に登録が可能で現在約120名の方が登録されている。

⑥認知症高齢者ひとり歩き見守り支援シールの交付

認知症高齢者が早期に介護者のもとへ戻るができるよう支援することを目的と

して、介護者に連絡することができる二次元バーコード付きのひとり歩き見守りシールを交付している。今年度は、16名の方に交付を行った。

⑦認知症初期集中チームによる支援

40歳以上の自宅で生活している方で認知症を疑われるが、かかりつけ医がいないなどで医療に繋がっていない方を対象に、医療・福祉・介護の専門職で構成されるチームが一定期間集中的に支援し、必要に応じて医療機関の受診や介護サービスへ繋げる。

・各事業所の認知症利用者の数

ひかり病院訪看・・・利用者総数は約70名で認知症の方は約20名

特養ひかりCPC・・・認知症の方は38名で検査していない人を合わすと倍くらいになる。

正雀ひかりCPC・・・利用者総数は約100名で認知症の方は約18名

老健ひかりCPC・・・利用者総数は約150名で認知症の方は77名

・民生委員長 B様より

ひとり歩きしている方を何回も見たことがある。夕方に訪問したらいいことも時々あり、その時にどこを探しに行ったらいいかわからない。近所の工場の方が助けてくれたこともあった。私たちには専門知識はないが、包括や関係機関へ繋いでいくようにしたい。

・院長より

コロナ期間中は利用者の数も伸び悩み、苦しい時期があった。コロナも次第に落ち着いてきて、少しずつ利用者の数も伸びてきた。民生委員の方もおっしゃっていたが、関係機関へ繋いでいくことがとても大事なこと。徘徊していたらお腹が空くのか、食べ物屋さんで見かけることが多い。検索願いを出すより、施策を活用していきたい。

質疑応答

・利用料金は？

→介護度1の方で訪問看護なしの場合、月額1万円ほど。1日の訪問回数や随時訪問をしても値段に変わりはない。

・誰でも使える？

→（要介護の方で摂津市に住民票がある方）であれば誰でも利用可能。

・耳の遠い認知症の人へはどう声掛けしたらいいか？

→身振り、手振りの非言語なども活用して声を掛けてみる。コミュニケーションは言語だけではない。